

令和5年5月28日

関係各位

青森市ソフトテニス連盟  
会長 小山内 悟



青森・函館・盛岡・秋田四都市対抗ソフトテニス大会の廃止について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本連盟の事業につきまして、日頃格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記大会は昭和30年7月に第1回大会が開催されてから60年を超える期間皆様のご協力を得て開催を継続してまいりました。令和2年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和元年度第65回大会を最後に大会開催の見合わせが現在まで続いてまいりました。

本年5月8日からは、感染症法上の位置づけが5類感染症へ移行され、一定の線引きがされたものの、新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではなく、いまだに大会運営の在り方等制約を受けている状況にあります。

また、標記大会は大会後の選手・役員による懇親会の開催も一つの大会の目玉として実施してきたところです。本県を代表する版画家、棟方志功ゆかりの浅虫温泉「椿館」を会場に試合後に入浴しその後懇親会を行うスタイルでの大会でした。その椿館も、新型コロナの影響を受け経営が芳しくなったことにより、今までと同じ内容での大会開催は難しい状況となりました。

以上の点から、先輩方が築きあげてきた大会に終止符をうつことは無念の気持ちですが、一定の区切りをつける必要があると判断し、ここに廃止することとしました。

各市連盟(協会)の皆様には、長い間ご協力いただき誠にありがとうございました。

今後とも、本連盟をご高配賜りますようお願い申し上げます。

敬 具